

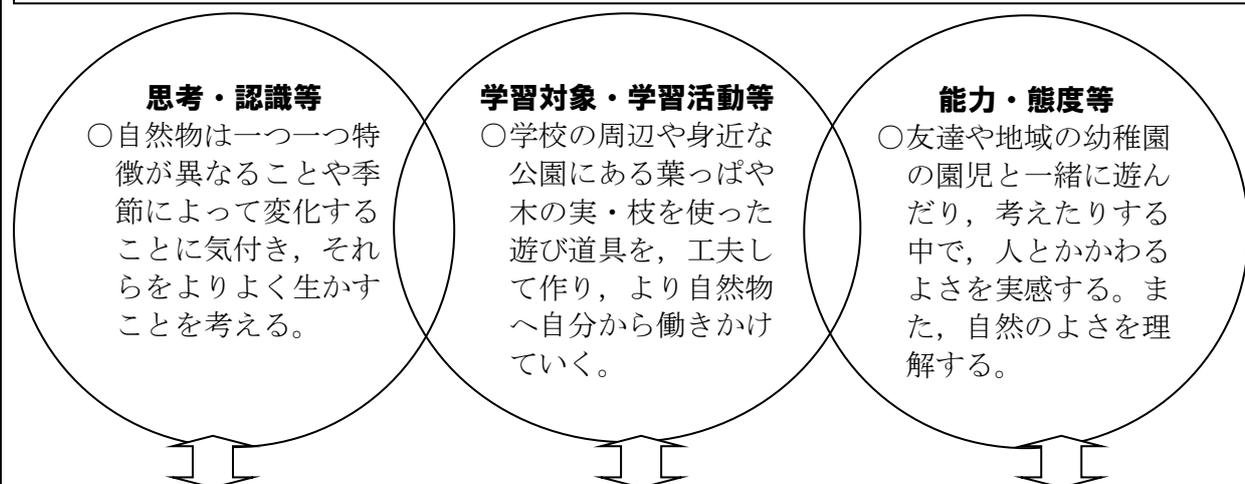
学年	単元名	児童	場所	指導者
第1学年	くさきもわたしも ころもがえ	旭川市立緑が丘小学校 1年1組 24名	1年1組教室	菅野かすみ

1 本単元で身に付けさせたい力の明確化と学習対象（ひと・こと・もの）の吟味

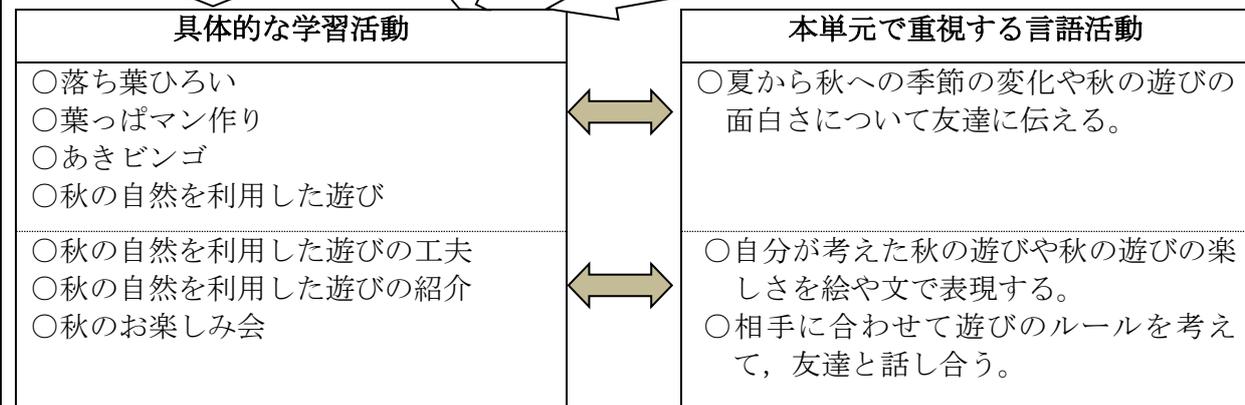
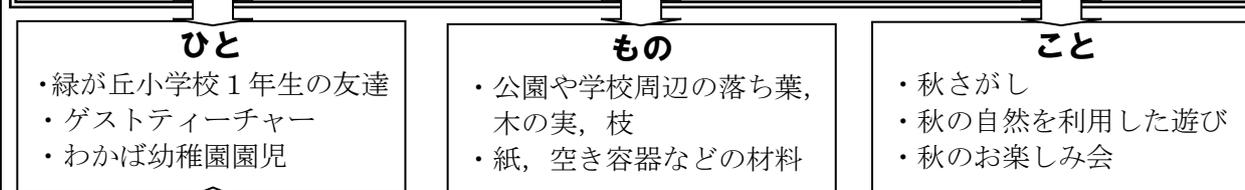
【学習指導要領より】

内容（5）身近な自然を観察したり，季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりなどして，四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心し，自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする。

内容（6）身近な自然を利用したり，身近にあるものを使ったりなどして，遊びや遊びに使う物を工夫してつくり，その面白さや自然の不思議さに関心し，みんなで遊びを楽しむことができるようにする。



単元の学習課題
秋を楽しもう！
 ～秋の遊びを通して，夏から秋への季節の変化や秋の面白さに気付く～



2 単元について

(1) 内容との関わり

本単元は、学習指導要領の内容（５）（６）と関連している。特に、第一・二次では内容（５）「身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりなどして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心を持ち、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする。」を中心とした単元構成、第三次は内容（６）「身近な自然を利用したり、身近にあるものを使ったりなどして、遊びや遊びに使うものを工夫してつくり、その面白さや不思議さに気付き、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。」を押さえ、秋のよさに気付く活動を大切にしながら単元を構成する。

秋の自然と触れ合うことで、いつも目にしている学校周辺や公園の草花や樹木の様子が、季節とともに変化していることに気付かせる。そして、変化していく自然物を使って、遊びを楽しんだり、遊びを工夫したりすることで、秋の自然からいろいろな遊びができることに気付かせ、遊びの面白さや自然の不思議さを感じ取らせていくことを目指している。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、1学期の「いちにさんぽでさんさんおひさま」（内容５）という単元において、学校周辺や近隣の公園に足を運び、季節を見付け、感じる学習を行った。草花や生き物を見付けて季節を感じ、その変化に関心を持ちたり、友達と一緒に体を動かし、春の暖かさや夏の暑さを体全体で感じたりしながら、公園遊びを楽しんできた。生活科での季節を感じるものを探求学習を楽しみにしている児童が多く、進んで活動する児童が多く見られる。

事前アンケートは、「外や公園で遊ぶことが好き 21 / 24人」という結果であった。また、自然物を利用した遊びについて質問すると、「たんぽぽつみ」や「まつぼっくりひろい」等、気に入った草花や木の実を集めたり、拾ったりするような遊びが目立った。さらに、好きな遊びについては、「おにあそび」や「遊具遊び」等を好む児童が多い結果となった。

アンケートの結果から、外遊びを好む児童は多いものの、自然物を利用した遊びの経験は少ないという傾向が見られた。本単元は、秋の自然物を利用した遊びを考え、楽しむ活動を中心に学習が進められる。秋の自然物や秋の遊びの楽しさについての気付きを共有することで、身近な自然物に目を向けて季節を感じたり、季節に応じた遊び方を考え、楽しめるように遊びを広げたりしていく姿を期待している。

(3) 指導について

校庭や学校周辺、神陵公園・西御料公園をフィールドとする活動は、季節による違いを五感で感じさせることをねらいとしている。身近な自然との触れ合いの場を、学校の周辺や、児童がよく行く公園に設定し、時間を変えて同じ場所に連れて行くことで、児童は季節の違いを比較しながら、様々な気付きをもつことができると考えた。

その活動の中で、児童が落ち葉や木の実などに触れる際には、音・色・形・手触りなどのその季節の特徴をとらえる視点をもたせていきたい。また、教室には季節の変化や活動の様子が見て取れる掲示を工夫し、季節の変化に関心を持ち手立ての一つとしたい。

そして、自然物で思う存分遊んだ後に、身近にある物を加えて遊びをより楽しくし、自分だけの遊びではなく友達の遊びにも触れることで、自然物を使った遊びのよさや、遊びを工夫できた自分や友達のよさに気付かせたい。

3 単元の目標

秋になった公園を散歩したり、そこで楽しく遊んだりすることを通して、夏から秋への季節の変化に気付くことができるようにする。また、秋の様子についていろいろな方法で表現したり、秋の自然物を利用して遊ぶ物を作ったりする中で、自分たちの生活を工夫し、楽しくできるようにする。

4 評価規準

(1) 単元の評価規準

ア 生活への関心・意欲・態度	イ 活動や体験についての思考・表現	ウ 身近な環境や自分についての気付き
・秋を探したり調べたりする活動を通して季節の変化に関心を持ち、みんなで楽しく遊ぼうとしている。	・秋の町の様子や草木の様子を見て、秋を見付けたり、カードに書いたりしている。 ・落ち葉や木の実などの素材の特徴を生かした遊びを考えたり、工夫したりして、それをすなおに表現している。	・秋の町の様子や草木の様子を見て、季節の変化や特徴に気付いている。 ・自然物を利用して遊ぶ面白さや、みんなで遊ぶ楽しさに気付いている。

(2) 学習活動における具体的評価規準

次	ア 生活への関心・意欲・態度	イ 活動や体験についての思考・表現	ウ 身近な環境や自分についての気付き
一	①季節の変化に関心を持ち、学校周辺にある落ち葉を使った遊びを楽しもうとしている。	①見付けた秋について、絵に描いたり紹介したりしている。	①木の葉の色の変化や木の実が落ちていることなど季節の変化に気付いている。
二	②公園に行き、落ち葉や木の実を使った遊びを楽しもうとしている。	②新しく見付けたことや遊びについて絵や文にかいたり紹介したりしている。	②落ち葉や木の実で色々な遊びができることや遊びを通して季節の特徴に気付いている。
三	③落ち葉や木の実を使った遊びを工夫して、遊びを楽しもうとしている。	③自然物と身近にある物を使った遊びや、遊びに使う物を工夫して作っている。	③落ち葉や木の実を使った秋の遊びを通して、その面白さに気付いている。
四	④遊びを教える側の立場に立ち、友達と協力しながら、自分の仕事をやり遂げようとしている。	④遊びを教わる側の気持ちを考え、接客の仕方・遊び方・遊び道具・装飾などを工夫している。	④遊びを教えることで、自分のよさに気付いている。

5 単元の指導計画（21時間）

次	時間	○主な学習活動	各次の目標 ◇教師の指導 ◆評価 ☆気付きの共有化の視点
一 あきをみつけよう ③		<p style="text-align: center;">学校のまわりで、秋を見付けに行こう！</p> <p>① ○学校の周辺を散歩して、秋を感じる物を探す。</p> <p>② ○見付けたものをカードに記録し、交流する。 ・外は、寒かったよ。 ・葉っぱがいっぱい落ちていたよ。</p> <p>③ ○拾ってきた葉っぱで「葉っぱマン」を作る。 ・葉っぱマンを作ったよ。 ・目を木の実にしてみたよ。</p> <p style="text-align: center;">いろいろな秋を見付けたよ！ もっと秋のもので遊んでみたいな！</p> <p style="text-align: center;">秋の遊び名人になろう！</p>	<p>秋の自然物と出会い、季節の特徴や、夏から秋への変化に気付いている。</p> <p>◇秋の自然物に着目させ、見たり、触ったりしながら五感（音・におい・手ざわり等）で秋を感じさせて、季節が夏から秋へ変わったことに気付かせる。</p> <p>☆夏と比べて違うところは何か</p> <p>◆イー① 〈行動観察，発言分析，カード〉 ◆ウー① 〈行動観察，発言分析〉</p> <p>◇秋の自然物で遊ぶ楽しさを感じさせ、秋の自然物への興味関心・次の学習への意欲を喚起させる。</p> <p>◆アー① 〈行動観察，発言分析〉</p>
二 あきのあそびをしよう ⑤		<p style="text-align: center;">公園で見付けた秋の自然で遊ぼう！</p> <p>④ ○神稜公園に行き、秋の自然物で遊ぶ。</p> <p>⑤ ○秋について新しく見付けたこと、気付いたこと、楽しかったことを、絵や文でカードに記録し、交流する。 ・松ぼっくりがたくさんあった。丘の上から転がして遊んだよ。 ・葉っぱをいっぱい集めて、こすって粉々にして遊んで楽しかったよ。</p> <p>⑥ ○西御料公園に行き、秋の自然物で遊ぶ。</p> <p>⑦ ○秋について新しく見付けたこと、気付いたこと、楽しかったことを、絵や文でカードに記録し、交流する。 ・大きな葉っぱがあったから、お面にしたよ。 ・木の実がいろいろ落ちてたよ。葉っぱに包んでお友達にプレゼントした。</p> <p style="text-align: center;">秋の自然で、いっぱい楽しんだね！</p>	<p>公園の季節の変化に気付き、秋の自然物を利用した遊びを楽しもうとしている。</p> <p>◇公園にある秋の自然物を使って、友達や幼稚園児と一緒に遊ばせる。</p> <p>☆秋の自然物を使った楽しい遊び</p> <p>◆アー② 〈行動観察，発言分析〉 ◆ウー② 〈行動観察，発言分析〉</p> <p>◇「あきビンゴ」をして、公園にある自然物に着目させる。</p> <p>◇公園にある秋の自然物を使って、多様な遊びを楽しませる。</p> <p>☆秋の自然物を使った楽しい遊び ☆夏にはしなかった・できなかった遊び</p> <p>◇公園で見付けた自然物で気に入った物は持ち帰らせ、次の学習に活用する。</p> <p>◆イー② 〈行動観察，発言分析，カード〉</p>
		<p style="text-align: center;">秋の遊び道具を考えよう！</p> <p>⑨ ○秋の自然物と身近にある物を組み合わせた遊び道具を考える。</p> <p>○作ってみたい遊び道具・やってみたい遊びを絵や文でカードにかく。 ・こまを作りたいな。</p>	<p>秋の自然物と身近にある物を組み合わせて、秋の遊びを楽しんでいる。</p> <p>◇自然物と身近にある物を組み合わせて作った遊び道具を「遊び名人」に紹介してもらい、学習への意欲を喚起させる。</p> <p>◇今まで集めてきた自然物と身近</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl;">三あきのあそびどうぐをつくろう⑦</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音が鳴る楽器を作ってみよう。 <p>⑩ ○西御料公園に、材料を集めに行く。</p> <p>⑪</p> <p>⑫ ○遊び道具を作る。</p> <p>⑬ ○遊び道具を作って思ったことや気付いたことをカードに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・枯れ葉で遊ぶのが、もっと楽しくなったよ。 ・この木の実を使うと、面白くなったよ。 ・まだいっぱい遊びたいな。 <p>⑭ ○自分で作った遊び道具で遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「よーい、どん！」で、みんなでスタートして競争したら、面白かったね。 ・他のグループの遊び道具もやってみたいな。 <p>⑮ ○自分達が考えた遊び道具を使い、みんなで遊ぶ。</p> <p>本時 ○秋の遊び道具の面白さについて交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こまを回したのが面白かった。 ・どんぐりだから、面白い回り方だった！ ・葉っぱががさがさしてて、面白い音だった。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> やっぱり 秋の遊びは面白い！ </div>	<p>にある物を教室に用意しておき、材料を見たり、触ったりしながら考えられる環境を整える。</p> <p>◆アー③〈行動観察，発言分析〉</p> <p>◇作りたい遊び道具が同じ、または似ている者同士でグループをつくり活動させる。</p> <p>◇計画外でも使いたいものを見つけたら拾うよう促して、たくさん集めさせる。</p> <p>◆アー③〈行動観察，発言分析〉</p> <p>◇グループで活動させる。</p> <p>◇自分達で遊びながら工夫を重ね、材料の組み合わせで遊びの幅を広げさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ☆作った遊び道具の面白いところ ☆材料を組み合わせでできた楽しい秋の遊び </div> <p>◆イー③〈行動観察，発言分析，カード〉</p> <p>◇グループで活動させる。</p> <p>◇同じグループ同士で遊び道具を使って、楽しませる。</p> <p>◆イー③〈行動観察，発言分析，カード〉</p> <p>◇遊び道具のコーナーを設置し、好きな遊び道具で楽しませる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ☆秋の遊び道具の面白さ </div> <p>◇発問を工夫したり、再現活動を行わせたりしながら、児童が見つけた秋の遊びの面白さについて交流し、それぞれの気づきを明確にさせる。</p> <p>◆ウー③〈行動観察，発言分析，カード〉</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl;">四あきのおたのしみかいをしよう⑧</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 秋のお楽しみ会をして、みんなで秋の遊びを楽しもう！ </div> <p>⑯ ○わかば幼稚園の園児を、秋のお楽しみ会に招待する準備をする。</p> <p>⑰</p> <p>⑱ ○お楽しみ会の仕方を確認し、役割や順番を決める等の準備をする。</p> <p>⑲ ○わかば幼稚園の園児を招待し、秋のお楽しみ会を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この遊び、面白いんだよ。 ・一緒に遊ぼう。 <p>⑳ ○秋のお楽しみ会を振り返り、カードに記録する。</p> <p>㉑ ○「振り返りカード」を用いて、秋の遊びや遊び道具の楽しかったことを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋のものでいっぱい遊べて、楽しかったよ。 	<p>身近な人に秋の遊びの面白さを伝え、みんなで秋の遊びを楽しんでいる。</p> <p>◇「幼稚園のみんなが楽しめる会」にするために、グループ毎に遊びの準備や道具の補修をさせる。</p> <p>◆アー④〈行動観察，発言分析〉</p> <p>◆アー④〈行動観察，発言分析〉</p> <p>◆イー④〈行動観察，発言分析〉</p> <p>◆アー④〈行動観察，発言分析〉</p> <p>◆イー④〈行動観察，発言分析〉</p> <p>◇一緒に遊ぶよう声をかけたり、交ざって遊んだりしながら、児童と園児のかかわり合いを促す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ☆お気に入りの秋の遊び方 ☆お楽しみ会で楽しかったこと </div>

みんなでたくさん遊んで，楽しい秋になったね！

6 研究とのかかわり

(1) 身に付けさせたい力の明確化と学習対象（ひと・もの・こと）の吟味……………【研究内容1－（1）】

身に付けさせたい力の明確化

「旭川らしい学びを創造する生活科」になるよう，学習内容の吟味を行い“本単元で身に付けさせたい力と学習対象の関連図”に示した。本単元で身に付けさせたい力は，学習指導要領内容（5）「身近な自然を観察したり，季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりなどして，四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに基づき，自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする。」に示されている。これを受け，単元の学習課題を「秋を楽しもう！」と設定し，「秋の遊びを通して，夏から秋への季節の変化や秋の面白さに気付く」ことを重視しながら課題の解決に迫っていく。

学習対象（ひと・もの・こと）の吟味

そのために最も大切なことは，学校周辺や公園へ繰り返しかかわっていくことだと考えた。春・夏・秋と同じ公園へ通い，音・色・形・手触りなどの視点をもちながらじっくり自然物とかかわることで，季節の変化をより捉えやすくなるであろう。さらに，教室には季節の特徴が分かる掲示物を四季毎に掲示し，目に見える形で活動の足跡を残していくようにする。また，自然物を用いた遊びを通して，秋の面白さに気付かせていきたい。

(2) 学びの価値を実感できる単元構成の工夫……………【研究内容2－（1）】

児童の思いや願いを生かす学習活動

児童の思いや願いを育み，意欲や主体性を高める学習活動を狙い，単元に次のような学習活動を位置づけた。まず，遊びの面白さや自然の不思議さを感じることができる活動を設定した。児童が思う存分活動し，対象に繰り返しかかわることで季節の変化や秋の面白さを感じ取り，主体的に活動することができると思ったからである。次に，そこから得られた気付きをカードに記入したり，印を付けたりしながら自らの気付きや思いを表現する活動を設定した。気付きや思いを書き表す活動は体験を価値あるものと認識させるであろう。さらに，それを基にしながら，気付いたことを比較したり，分類したり，関連付けたりしながら交流する活動を設定することで，自分の学びを再認識し，学びの価値付けにつながって行くと考ええる。

活動の節目では，気付きを統合したり，拾ったりしながら「次（つぐ）のつながり」をイメージできる言葉を導き出し，次の学習へ違和感なく進められるように配慮していく。

(3) 気付きの質を高める指導方法・手立ての工夫……………【研究内容3－（1）】

教師の発問・板書の工夫

気付きの質を高めるためには，教師の働きかけが重要であると考え。ゆえに，教師は発問や板書を意図的にする。1つ目に，教師が気付きの共有化の視点を明確にもち，それを指導計画に位置づけ，その視点に基づき適切な発問を行い，児童に内在する気付きを導き出したい。2つ目は，児童から出た気付きを色分けなどしながら整理して板書し，児童の思考の手助けとなるようにする。特に，秋に関わる気付きには注目させるようにしていきたい。3つ目に，交流の場面では教師が気付きを適切に取り上げ，つなぎ合わせたり，分類したり，関連させたりしながら気付きの質を高めていけるようにしたい。児童は自らの気付きを振り返り，互いの気付きを交流する活動を通して，気付きの共有化を図り学びの価値を高めていくだろう。

7 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・秋の遊びを楽しみ、その面白さに気付くことができる。

(2) 本時の展開 (21時間扱いの15時間目)

主な学習活動	◇教師の働きかけ ◆評価 ☆気付きの共有化の視点
1 本時の学習課題を確認する。	◇遊ぶ目的を児童に示してから活動させる。
みんなで あきのあそびを たのしもう！	
2 考えた遊び道具で遊ぶ。 ○自分の遊びたいものを見付けて、遊ぶ。 ○面白かった遊びは、「あそびカード」に印を付けておく。 <u>どんぐりを使った遊び</u> ・どんぐりがくるくる回って楽しい！ <u>葉っぱを使った遊び</u> ・葉っぱの中から、お宝を探すぞ！ <u>松ぼっくりを使った遊び</u> ・いっぱい投げて、100点にあたった！	◇グループ毎にコーナーを設けて、興味のある遊び道具で遊ばせる。 ◇教師はグループを回り、適宜声をかけながら、児童の発言・行動などを観察し、それぞれの思いや気付きを把握しておく。
3 面白かった秋の遊びについて、交流する。 ・自分のこまが友達のこまとぶつかって、一緒に転んでいたよ！ ・葉っぱの中にがさがさ入って行って、お宝を見付けるのが楽しかったよ！ ・松ぼっくりは、ごつごつしているからボールみたいにまっすぐとばなくて、難しかった！	◇「あそびカード」を活用しながら、児童の発言や再現活動を促す。 ◇教師が板書に整理しながら、秋の遊びの楽しさや気付いたことの共有化を図る。 ☆秋の遊び道具の、どんなところが面白かったのか ☆どんな風に遊んだのか ◆(ウー③) 落ち葉や木の実を使った秋の遊びを通して、その面白さに気付いている。
やっぱり あきのあそびは おもしろい！	
4 次時への意欲を喚起する。 ・まだまだ遊びたい！ ・他の人とも遊びたいな！ ・秋の遊び道具をいろんな人に見せたい！	◇次の活動に発展するよう言葉かけをする。

(3) 本時の評価規準

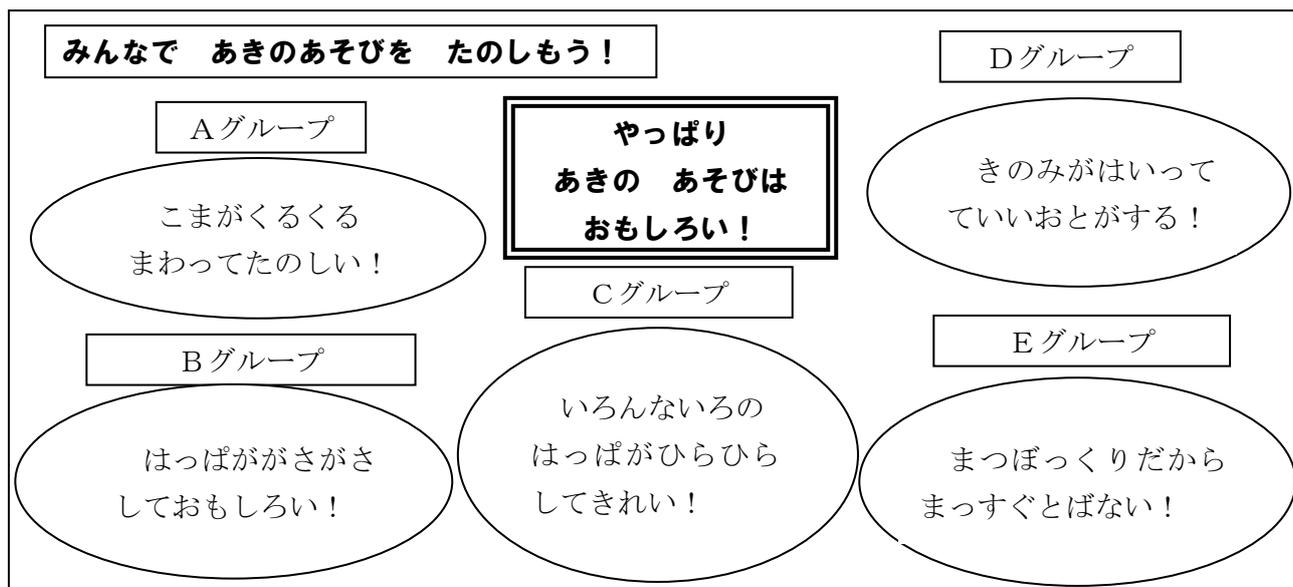
A: 秋の遊びは、落ち葉や木の実を使っているから面白いことに気付いている。

B: 秋の遊びは面白いことに気付いている。

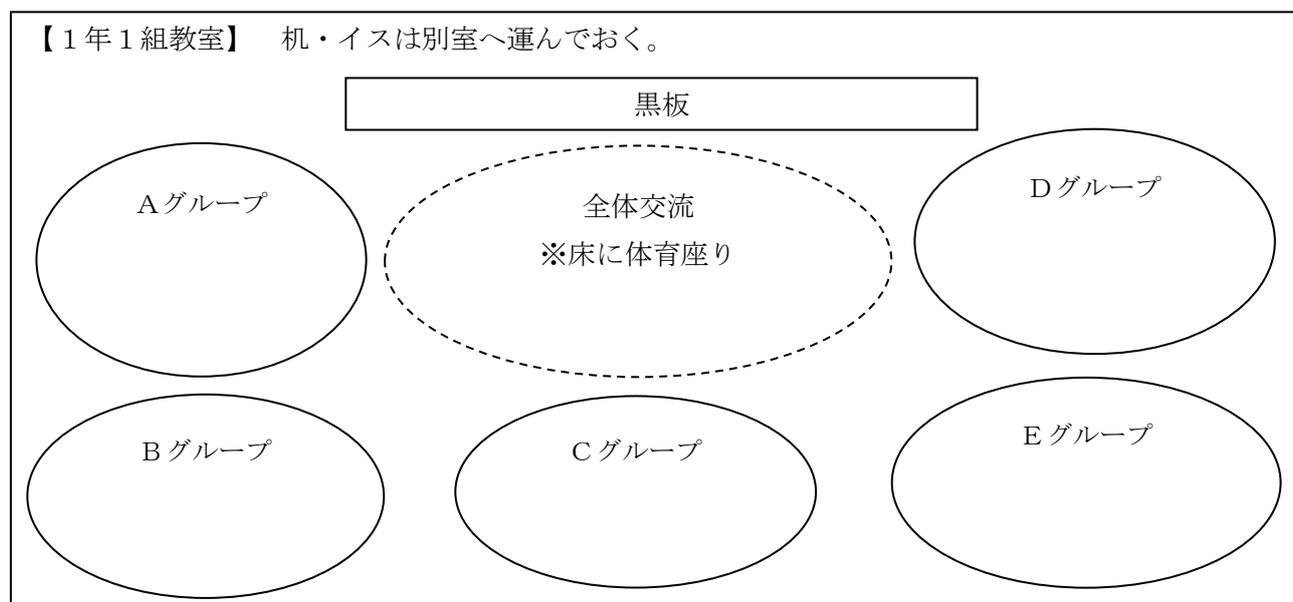
【努力を要する児童への支援】

- ・秋の遊びを楽しめるように言葉かけをしたり、一緒に遊んだりする。
- ・「あそびカード」を基に、どの遊びが面白かったのか一緒に考える。

(4) 板書計画



(5) 環境構成の工夫



あそびカード

